

会議録

グループホームじよんのび3
じよんのび掌
じよんのび慈

運営推進会議

作成日 令和 6年 1月 19日

期 日	令和6年1月18日	時間	15:00～
場 所			
出席者 (11名)	利用者・家族	3名	
	地域住民代表	4名	
	福祉事務所	1名	
	包括支援センター	1名	
	職員	2名	

会議要旨

議題 (テーマ)	①各事業所の状況
	②地震関連についての報告
	③その他
<p>新型コロナウイルス流行に伴い書面開催を行っていましたが、今回、約3年ぶりに対面での会議を行いました。</p> <p>職員挨拶 ・本日は天候も悪い中、ご参加いただきありがとうございます。 理事長、事務長ですが体調不良の為欠席させていただきます。</p> <p>①施設状況の説明 ・資料に沿って説明。じよんのび掌・じよんのび慈で空床があります。 待機者数が糸魚川市全体で減少している。施設が「空きましたのでいかがですか」と声をかけてもすぐには入所にならない。 お声をかける人がいない、病院の相談室や包括センター、居宅等に声をかけて入所者を見つけているのが現状です。 出席者：待機者が市全体で300人位。入所したい人を市・包括は把握しているのか？ 出席者：待機者の中でも他施設(老健)などに入所されている方もいる。 数年前に特養入所は介護度3以上になり、介護度1～2の方の人数が減った部分もある。介護度3以上で在宅だと糸魚川市内で50～60人位ではないかと思われる。 職員：すぐに満床になる事がない。1人入所されると、1つ空きがでるので、安定しての入所がなく、満床になるのが困難になっている。 出席者：複数施設の待機申込なので、施設を選べる。介護度が重くなると施設で過ごす期間が少なくなる。 出席者：特養待機者の中でも、最近は医療依存度の高い方が多く、特養は生活の場であって、医療を望まれる事が多いので入所者が少ない。 玉成会だけが少ないのではなく、ふくがくちの里も入所検討会議が月に1回だったのが月2回になった。 出席者：介護、看護が別々になっているので、施設にあった人が少ない。 待機中に亡くなる方がいる。 集落の中でもこの人は施設にはいった方が良いのではと思う人ほど、本人が嫌がり</p>	

ダメになる。施設に入りたい人はなかなか入れないという場合がある。

出席者：介護が必要な人・介護までは必要なく少しの手助けが必要な人、この狭間で悩んでいる人が多いような気がします。
先日の大雪の時地区の民生委員がスノーダンプをもって歩いていた、聞いてみたら女性の高齢者の方は除雪が出来ないので、手助けをしていると聞いた。少しの事が出来ない人が多いので「お助け部隊」などを市で作ってほしい。

出席者：介護度を持っていない方は福祉サービス係に相談していただきたい。

出席者：本人が相談しに行けない場合が多い。集落で助け合っている場合でも負担が大きい。声を上げなくても手を差し伸べる方法が欲しい。

出席者：地域全体になると把握はできない。災害があった場合、どう手助けしたらいいか考えたいので、名簿をくださいと市にお願いしたら個人情報でわたせないとされた。隣近所・近隣・地域全体のリストが無いと困る事が多いと思う。

出席者：糸魚川市内には地域包括支援センターが5カ所あります。
根知・大野地域は地域包括支援センターみやまの里
青海地域は地域包括支援センターおうみになります。相談いただければうれしいです。

出席者：下半身不随の方は糸魚川に施設がない。上越・富山に行かないとなく。家族・本人もこの足を踏む場合がある。

出席者：糸魚川全体で一人暮らしの方はたくさんいるのでしょ？
地域とむすびつきのある人はよいが、結びつきのない人はどうにもならない。

職員：地域の現状の貴重なお話をありがとうございました。

②地震関連についての報告

・資料に沿って説明

職員：糸魚川市に福祉避難所はありますか？

出席者：ありません。福祉避難所の場合、保健師等の配置が難しい課題になる。
福祉避難所は大きな課題。民間の力が必要になってくる。

出席者：姫川病院の跡地も空いている。そこを利用するのはどうか。

出席者：難しい問題だと思う。

出席者：市役所に避難したがテレビもラジオもなく情報が無くて困った。
自分は自宅から携帯ラジオを持って行ったのできいていた。市役所のテレビやラジオがあるといいと思う。

職員：施設には発電機があるが使える人が決まっている。
今後の課題として職員全員使えるようになりたい。
今回はたくさんのお話ありがとうございました。
今回は3月を予定しておりますのでお願い致します。